海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：融合理工学府　　学年：修士 1 年

留学先大学：RMIT 大学　　現在の学期：Semester 2

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	9:30-12:30 Screening Politics and Technologies
火	(9:30-12:30, 14:30-17:30 Screening Politics and Technologies)
水	
木	
金	9:30-12:30 Advanced Industrial visualization
土・日	

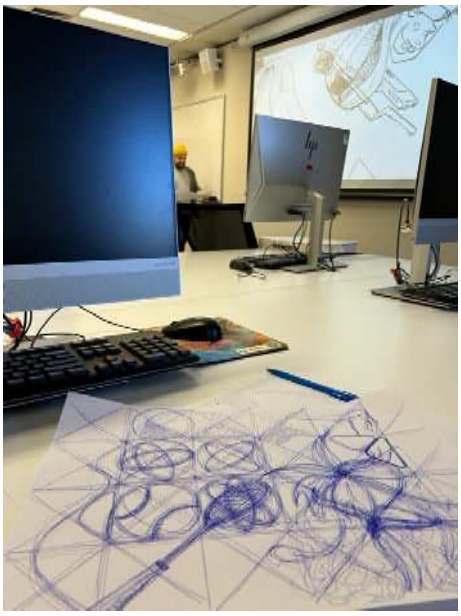
履修科目や近況について

履修登録はプロダクトを中心に、ビジュアライゼーションやインテリアなどインダストリアルデザインに関連した授業を 4 つ希望しました。Offer Letter では Advanced Industrial visualization のみ履修が許可されたため、現地でのオリエンテーションにて追加で 2 つの授業の希望を提出しましたが却下されました。これらの授業に関して単位を取得しない聴講を Student Connect（生徒総合窓口）と担当教員に打診しましたが、同じく却下されました。千葉大のシラバスとは異なり、授業の開催日時や教室が公開されていないため、自主的に講義を受講することも難しいようです。

Advanced Industrial visualization ではアナログとデジタルでのビジュアライズに関するスキルの向上を目指します。主にスケッチブックと iPad を使用したデザイン画の練習を行い、コミュニケーションツールとしての画力を向上させることが目的です。最終的には授業内で作成したデザインがポートフォリオになるような構成になっています。課題は毎日のスケッチと、週ごとに授業のトピックに関連したタスクを与えられることがあります（今週は付箋にオリジナルデザインスケッチを 3 枚/1 日、など)。出席や宿題の確認はほとんどなく、評価方法は不明です。

参加生徒は計 10 人程度で、非常勤の現役デザイナー講師が各週のトピックに合わせたデザインスキルを実践しながら、生徒が手本に沿って練習するものです。学部デザインコースの必修科目である統合デザインに内容が似ているので、履修済みの学生であれば問題なく授業についていけると思います。基本的に個人作業ですが、講師がフレンドリーで生徒とも質問や雑談を交わしながら進めてくれます。

RMIT City campus



授業の様子

オリエンテーションの様子

RMIT Brunswick campus（design course）

Screening Politics and Technologies では、毎週 2 本ずつ映画を鑑賞し、そのトピックや撮影方法、制作背景などについて講義を受けるものです。この授業は映像専攻の友人に紹介してもらった授業で、自主的な聴講という形で参加しています。CAPTOL という RMIT が所有する映画館で行われており、日本の一般的な映画館と同じ規模のスクリーンで鑑賞と講義を行います。撮影方法や色彩・レイアウトの編集加工など、デザインスキルに応用できる内容も学ことができます。

生活面ではピックルボールクラブに体験入部し、週に 1 回屋外のコートで練習や模擬戦を行っています。マイナーなスポーツで半数が初心者なので、未経験の場合でも丁寧にコーチングしてくれます。クラブは基本的にセメスターごとに AUD$10-50 程度の入会費がかかります。留学生が入れるクラブは多くはありませんが、天文部や先住民文化研究部など文化系のクラブは入りやすく活気があるようです。

住居に関して、市街地から 40 分ほどの Kew という地域で 20 代の女性 2 人とシェアハウスをしています。郊外ですが治安が良くスーパーやレストランもあり、住みやすい場所です。

部屋の様子

Kew の街並み

メルボルンの特徴として、市内に無料のトラムが走っていることが挙げられます。メインキャンパス周辺の CBD 内であれば移動には困りません。また RMIT はキャンパスの見た目と数の多さが特徴です。一般的なビルのようなキャンパスと、不思議なオブジェや鏡張りが目立つ大きなキャンパスがあり、市内だけで 100 棟以上のキャンパスがあります。それぞれに番号がふってあり、ポータルアプリでもマップを表示してくれるので安心です。

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：融合理工学府

学年：大学院 1 年

留学先大学：University of Cincinnati

現在の学期：Spring semester

時間割：

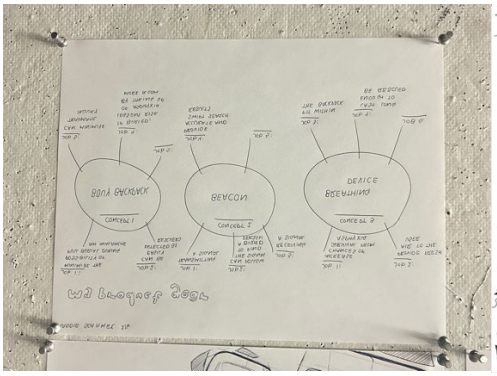
曜日	履修科目名・時間等
月	13:25-14:45 INDL 1021-003 Design Technology 1 15:00-17:50 INDL 3046-001 Product Design Communication 1
火	14:00-16:50 INDL 3042-003 Product Design Studio 1
水	13:25-14:45 INDL 1021-003 Design Technology 1 15:00-17:50 INDL 3046-001 Product Design Communication 1
木	9:30-10:55 PD 2070-003 Professionalism and Purpose 14:00-16:50 INDL 3042-003 Product Design Studio 1
金	
土・日	

履修科目や近況について

履修登録はプロダクトデザインの授業を中心に、Product Design Studio 1, Product Design Communication 1, Design Technology1 の 3 つの実践系授業と、Co-op インターンシップに参加するための PD course を受講しています。交換留学生はフルタイムの学生として 12 単位以上を履修する必要があるので、早めに Academic Advisor と相談して授業を確定させると安心です。万が一履修登録期間が過ぎてしまった場合は担当教員の承諾と申請書類を Academic Advisor に提出すれば例外的に履修登録の変更を受け付けてくれます。ほとんどの授業は Studio を中心に受講場所が決まっていて、DesCom や Theory&Method はそれぞれ 3 人の先生から選べるのですが（内容は同じ）、Studio で授業を受ける部屋と同じ部屋と選ぶのが定石のようです。同じ部屋同じ席だと荷物を保管しやすい一方、飽きるのであえてクラスや席を変えて気分転換する人もいます。

Product Design Studio 1 では、千葉大の工業デザインのような実践的なデザインを学び

ます。Studio は 4 つの柱から選ぶことができ、Product, Transportation, Furniture, Environment があります。Product の授業では最終プロトタイプ制作を目標に、インタビューリサーチやスケッチ、コンセプトメイク、レンダリングなど一連のデザイン提案を個人で行います。基本的に個人ワークですが、授業内でクラスメイトとグループを組んで批評し合う時間があり、周りの人とも仲良くなりやすい環境です。成績はスケッチなどの提出課題やプレゼンの出来で評価されます。



Product Design Communication 1 ではポートフォリオ作成を行います。千葉大では PDF のポートフォリオが基本ですが、こちらでは個人のウェブサイトを就活時に使用するようです。学生は 1,2 年次に自分でコーディングしたポートフォリオサイトを持っており、この授業ではそのウェブサイトに新しいプロジェクトを追加したり、視認性を高めるためにコードを追加したり、ウェブサイトの質を高めるために作業していきます。ポートフォリオサイトはインターンの獲得や就活に直結するので、2,3 年生から力を入れているようです。

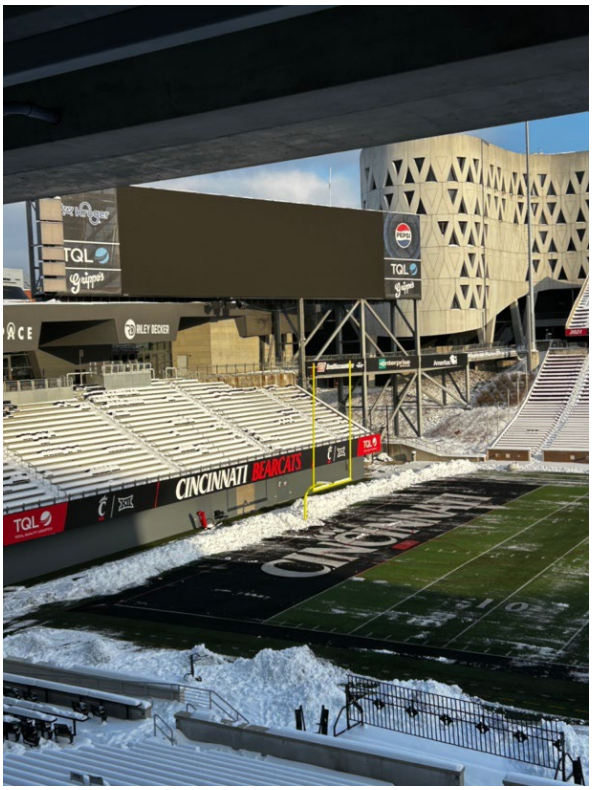
Design Technology1 はレンダリングやプロトタイピングに必須な基本的なスキルを学ぶための授業です。Fusion360 を使用したモデル作りや、アトリエの機材使用方法など広く基礎的な内容ですが、デザインソフトの使い方は独学以外では学ぶ機会があまりないので、丁寧に基本の使い方を教えてくれる授業は非常に貴重だと思います。

PD ではインターンシップの獲得に向けて、resume の作り方やインタビューの心得など、就活に必要な内容を包括的に学ぶことができます。resume 文章の効果的な組み立て方から挨拶の仕方、オープンマインドでいるためのコツなど、日本での就活にも有用な内容を教わることができるため仕事へのモチベーションが上がります。特にアメリカは書類審査よりも個人のコネクションやパーソナリティを重視する傾向があるので、内面的な意識の向上や積極的なコミュニケーションを行えるよう指導してもらえます。

Design Theory and Method は Studio の制作に並行してリサーチを行う授業です。私は他の授業が重複してしまい 3 週目までしか受けられなかったのですが、勉強になったこ

とは多くあったので、ぜひこの授業を履修することをお勧めします。5 年 10 年先の未来を見越したトレンドリサーチを行う授業なのですが、DAAP 独自のデザインリサーチ指南書があり、リサーチにおいて必要な情報とは何か、信頼できる情報とそうでないものの判断など、どの分野のデザインにも通用するような内容を学ぶことができます。Studio の自分の制作と並行してリサーチを行えるので、より実践的な意識を持って再現性のあるリサーチスキルを獲得できると思います。

生活面について、DAAP から徒歩 15 分のアパートに 5 人でシェアハウスをしています。うち 2 人はもともと千葉大学へ交換留学に来ていた UC の学生で、毎日一緒にご飯を作ったり授業について相談したり楽しく過ごしています。滞在先は彼女たちが Facebook で探してくれ、大学や買い物に行くときは車で送ってもらっています。滞在場所を実際に見て決めたいという人以外は、到着の 1,2 ヶ月前から Facebook で UCstudent 向けの空き部屋情報をチェックし、あらかじめ住む場所を決めておく方が良いです。1,2 学期ごとに住む場所を変える学生が多く、転居のサイクルがほとんど固定されているので到着してから空き部屋を探すのは難しいです。
食事は外食が高いので自炊が多いですが、現地学生の協力のおかげで健康的な食生活を送れています。外食や肉、生鮮食品は高いですが、冷凍食品や乳製品は比較的安く購入できます。大学から近いスーパーは Kroger ですが、車で 15 分ほどの Trader Joe も安いのでよく行きます。アジアンスーパーで日本人しか食べないような食材が叩き売りされていたりするのでお勧めです。大学周辺は田舎なので娯楽らしい娯楽はあまりありませんが、近くにカフェがあったりレトロな映画館があったり、放課後や週末に出かける楽しみはたくさんあります。

シンシナティの学生は友達の家に集まって夜ご飯を食べに来たり、週末にハウスパーティを開いたりして遊ぶのが定番のようで、主に室内で過ごすことが多いです。日本にハウスパーティの文化はあまりないですが、多くの人と出会えて英語力とコミュニケーション力を鍛えられ、アメリカのクレイジーな文化も体験できるので、機会があればぜひ参加してみてほしいです。大抵の家は大きくておしゃれなので、気軽に友達同士の家に行き来して料理を振る舞うのがアメリカらしくて好きです。

また UC ではすべての学生に公開されているフィットネスクラスが毎日行われており、ヨガやピラティス、ダンスなど初心者でも参加しやすく、普段から運動ができるような環境が整えられています。キャンパス内にはジムと温水プールもあり誰でも自由に利用できるようです。市内に大きな公園や公開されたスポーツ施設はほとんどないので、運動したいときは大学の提供するコースを利用するといいと思います。